



ダイレクト自動車保険 17年度第1四半期決算

# 元受正味保険料6%増加(9社)

ダイレクト自動車保険9社(ソニー損保、アクサ損保、セゾン自動車火災、チューリッヒ保険、三井ダイレクト損保、SBI損保、イーデザイン損保、そんぽ24、アメリカンホーム)が発表した2017年度第1四半期決算によると、9社の元受正味保険料などの合計は前年同期比6・0%増の889億円となった。7社が前年度実績を上回り、そのうち3社は2桁の伸び率を示すなど好調だった。

## 前年同期比で7社上回る

ソニー損保の自動車保険の元受正味保険料は前年同期比11・1%増の250億円と堅調だった。自動車保険と医療保険を合わせた保有契約件数は17年6月末で1955万件

となった。主方商品である自動車保険の保有契約件数が伸びた結果、全体の正味収入保険料は同10・0%増の275億円、経常収益は同7・7%増の280億円。また、増

収に加え、自動車保険の事故率が低位で推移したこともあり、正味損害率

は同3・3ポイント低下して50・8%となった。アクサ損保の自動車保険の元受正味保険料は同3・7%増の134億円だった。主力の自動車保険を中心とした保有契約件数の増加等により、全体の元受正味保険料は同4・3%増の141億円。一方、正味収入保険料は、自動車保険の特約比例再保険の出再率の引

き下げにより出再保険料が減少した結果、同6・4%増の138億円となった。

セゾン自動車火災の自動車保険の元受正味保険料は、同21・8%増の114億円と昨年同様大きく

**新発売** 医師が考えた **がん保険980** 女性のための

医師が考えた少額短期保険株式会社

幅な伸びを示した。全種目計の正味収入保険料は同19%増の126億円、正味損害率は同0・5ポイント上昇で48・0%となっている。

チューリッヒ保険の自動車保険の元受正味保険料は、新規契約・継続契約が前年並みに安定的に推移した他、会計処理の一部変更によって同9・3%増加し、102億円

だった。一時的な増加分については、年度内で解消する見込み。三井ダイレクト損保の自動車保険の元受正味保険料は、同1・2%増の93億円と前年度実績を上回った。SBI損保の自動車保険は、元受正味保険料が同7・0%増の90億円となり、保有契約件数は約93万件と同10・7%増加

するなど好調に推移した。イーデザイン損保は、正味収入保険料が同15・3%増の72億円と前年同期実績を大きく上回った。そんぽ24の自動車保険の元受正味保険料は、同5・9%減の32億円。アメリカンホームは、16年12月1日以降の自動車保険の契約更改を終了している。

### ダイレクト自動車保険9社の業績

(17年度第1四半期、単位:億円、▲はマイナス)

	自動車保険・元受正味保険料	増減率
ソニー損保	250	11.1
アクサ損保	134	3.7
セゾン自動車火災	114	21.8
チューリッヒ保険	102	9.3
三井ダイレクト損保	93	1.2
SBI損保	90	7.0
イーデザイン損保	72	15.3
そんぽ24	32	▲5.9
アメリカンホーム	2	▲91.1
合計	889	6.0

(注)正味収入保険料